

# 国立遺伝学研究所運営会議（第124回）議事要旨

日 時 2022年6月22日(水) 15:00 ～ 16:40

場 所 Web 会議 (Zoom)

出 席 (所外委員) 上村委員、漆原委員、大杉委員、胡桃坂委員、塩見委員、篠崎委員、  
高橋委員、田畑委員、西田委員、本橋委員、森川委員 (副議長)  
(所内委員) 仁木委員、平田委員 (議長)、前島委員、澤委員、大久保委員、北野委員、  
川上委員、岩里委員

運営会議が出席を必要と認めた者 花岡所長、有田生命情報・DDBJ センター長  
事務局 管理部長、総務企画課長、財務課長、その他関係職員

会議に先立ち、事務局から、会議の成立要件の定足数（過半数の出席）を満たしている旨の報告があった。

(所長挨拶)

所長から、新任委員の紹介及び挨拶があった。

(議長の選出)

副議長から、議長の選出に関する説明がなされ、仁木委員から議長に平田委員を推薦する旨発言があり、これを了承した。

(委員以外の出席)

議長から、本日の会議に議題の説明者として、有田生命情報・DDBJセンター長が出席する旨発言があり、これを了承した。

## 議 事

### 審議事項

(1) 研究教育職員の人事について

●新分野創造センター教員のテニユア付与審査について

テニユア付与審査委員会委員長である前島委員から、資料 1 に基づき、審査対象者の研究業績、委員会における審査の経過及び審査結果について説明があり、運営会議申し合わせ「重要案件の採決方法について」に基づき、投票を行った結果、過半数以上の適任票を得たことから、原案どおり承認した。

〈意見概要〉・審査委員会の審査結果及び評価者からの評価について、審査対象者の今後の飛躍にポジティブに働くべきと考えるが、審査対象者にどのように助言したのか。→審査対象者の持つ卓越した技術を活かし、現在の研究対象以外の研究ターゲットにも目を向けて研究を行うことや共同研究を行うことが今後のステップにつながると考える点を審査対象者と面談を行った際に伝えている。

●遺伝メカニズム研究系無脊椎動物遺伝研究室助教の再任について

再任審査委員会委員長である川上委員から、資料 2 に基づき、審査対象者の研究業績、委員会における審査の経過及び審査結果について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

- (2) 「国立遺伝学研究所運営会議議事要旨」の公開について  
議長から、資料3に基づき、「国立遺伝学研究所運営会議議事要旨」の公開について、その趣旨、公開対象、公開する時期等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。
- (3) 国立遺伝学研究所所長候補者の選考について  
議長から、資料4に基づき、投票の成立条件の定足数（3分の2以上の出席）を満たしていることの報告及び所長候補者の選考方法について説明があり、所長候補適任者について、規程に基づき、投票を行い、所長候補者を決定し、機構へ推薦することとした。  
次いで、国立遺伝学研究所アドバイザリーボード規則に基づき、選出した所長候補者についてアドバイザリーボード委員に意見を求めることとし、これを承認した。

#### 報告事項

- (1) 研究教育職員の人事異動について  
所長から、資料5に基づき、2022年2月から2022年6月の間の人事異動について報告があった。
- (2) 第39回DNAデータ研究利用委員会について  
有田生命情報・DDBJセンター長から、資料6に基づき、第39回DNAデータ研究利用委員会での審議内容等について報告があった。
- (3) 国内研究機関との連携協定について  
所長から、資料7に基づき、独立行政法人製品評価技術基盤機構との連携協定について、目的及び連携事項等について報告があった。
- (4) 総合研究大学院大学生命科学研究科遺伝学専攻2022年度4月入学者について  
所長から、資料8に基づき、総合研究大学院大学生命科学研究科遺伝学専攻2022年度4月入学者について報告があった。

#### その他

- ・フリーディスカッションを行い、新型コロナウイルス感染症対策における感染予防対策や講義の実施方法等の対応事例、電気料金等の高騰に関する対応事例について、意見交換があった。

以上